

ボランティア活動報告

江差町では、誰もが住み慣れた地域で最後まで安心して暮らし続けられる地域を目指し、地域住民などが参加する会合「ネクストイノベーション」を実施しており、当学院教職員、学生も参加しております。今年度は5回開催予定で、すでに4回が終了し、教職員が4回、学生が2回参加しています。主にグループワークで話し合いを行っており、学生達も自分たちが生活していて不便だと思うこと、今まで住んできた地域との違いなどを事例として発表するなど、地域の方々との交流を図っていました。教職員が参加した際には、オープンキャンパスの案内（中止となりましたが）や、来年度の学生募集についても周知を行っております。12月22日には、学生自治会行事の一環で、道立江差病院の入院患者様へ手書きのクリスマスカードをお届けしました。

引き続き、学院の様子を地域の方々にも知っていただき、地域に関われた学院運営を進めてまいります。（副学院長・大島 慎也）



50枚作りしました！

夕音（しおね）寮から

7月から始まった寮の暖房工事も無事に終了し、寮生からは「部屋が暖かい！」という声が聞かれます。10月には2階の冷蔵庫の冷凍室が故障。週末は冷凍食品を活用する学生も多く、早速、新しい冷蔵庫を設置しました。

10月26日には寮総会が開催され、後期の新しい役員体制がスタートしています。引き続き、学生をサポートしながら快適な寮生活が送れるよう見守ってまいります。（教務主幹・坂上 美智子）

看護教員養成講習会・受講報告

令和4年度の専任教員養成講習会を受講しました。4月18日から6月2日までは学院のゼミ室を利用したZOOMでの受講でしたが、6月6日から11月24日までは集合研修となり、札幌にある北海道看護協会で受講しました。約8ヶ月間の研修でしたが、講義のほかにグループワークも多く、北海道医療センター附属看護学校で教育実習もさせていただきました。レポートや課題も多く大変ではありましたが、看護と教育について熱く語り合える仲間に恵まれ、ともに支え合い、充実した研修を過ごすことができました。また、コロナの感染状況をふまえながらの研修でしたが、やはり講師の先生と対面で向かい合って学ぶのは、画面越しとは違って表情や雰囲気が変わり、意見交換しやすく、Webや集合研修のメリット・デメリットも実感しました。

令和4年度から看護教育におけるカリキュラムが改正となり、臨床判断能力やコミュニケーション能力、多職種と連携・協同する能力、病院だけではなく、看護の対象である人たちが生活する地域と連携する能力、情報通信技術を用いるための基礎的能力などが求められるようになりました。看護師になるためには解剖生理学などの専門知識や採血などの看護技術も必要ですが、看護の対象が人間である以上、人と関わる力や相手を思いやる力、そして社会人基礎力が大切になってくると実感しています。

まだまだ未熟ではありますが、研修で学んだ知識を活かし、これからも学生の皆さんと一緒に看護を学んでいきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。（講師・竹田 里美）

立憲民主党北海道第8区総支部 意見交換会・学院視察

10月17日に、北海道議会議員（笹田浩議員、平出陽子議員、高橋亨議員）、函館市議会議員（道畑克雄議員、板倉一幸議員）らが学院視察に来られ、ハラスメント問題にかかるこれまでの対応を、道庁担当職員と学院職員からご説明しました。施設見学では、ほめ活ボードや目安箱を実際に見ていただき、意見交換では「再発防止対策をしっかりと講じていることを広く知ってもらおう努力をしてもらいたい」などのご意見をいただきました。

引き続き、学院の現状について、様々な機会を通じ情報発信に努めてまいります。



北海道立江差高等看護学院 通信

第7号【令和4年12月23日】

発行
北海道立江差
高等看護学院

学院の近況

今年も新型コロナウイルス感染症に翻弄され、講義や実習の予定が変更になることが多々ありましたが、気持ちを切り替え、出来ることを工夫し学習を進めてまいりました。大変な状況の中、ご協力いただいております関係者の皆様には心から感謝を申し上げますとともに、臨機応変に学習に取り組む学生と、少ない体験を共有したり一般化して最大限、学習効果をあげようと指導にあたる教職員にも敬意を表します。

10月には、学生の自己学習をサポートするため、学院を使用できる時間を延長したり、図書室併設の視聴覚室の自習机を、プライベート空間を意識したレイアウトに変更したりと、小さなことではありますが知恵を出し合いながら改革を試みています。遅くまで実習室で看護技術を練習したり、国家試験勉強にコツコツ取り組む3年生の姿を見かけるようになり、成果は出ているように感じます。ナイチンゲールは、病室の環境整備は、患者が気持ちよく療養生活を送り、治療に前向きになるために必要だと教えてくれました。私たち教職員も学生が「勉強したくなる」学院環境の整備に努めていきたいと思っております。

ハラスメント再発防止策では、学生面談や教職員の研修、ほめ活等の他、学院の図書室の一般開放を始めました。ささやかな地域貢献ではありますが、看護学院を地域の資源のひとつとして、活用していただけることを期待しています。

また、かねてから要望のあった遠隔地実習への移動補助については、3年生最後の実習（11～12月・八雲町）で試行的にタクシー・バス送迎を導入しました。学生の約半数の利用があり、来年度からの導入に向け検討してまいります（予算の都合上、八雲町等、公共交通機関が不便な地域に限定）。八雲町以外への移動や宿泊にかかる経費は引き続き自己負担となります。必要経費は学院パンフレット等でお示ししておりますので、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。（学院長・石谷 絵里）



ホールのナイチンゲールと
クリスマスツリー

学院は開学24年を迎えました

江差高等看護学院は、平成9年12月に当時の厚生省から「看護婦養成所」としての指定を受け、平成10年4月に開学し、今年で24年を迎えました。12月の開学記念日にあわせ「ほめ活特別編」として、後輩に伝えたい「アピールポイント」を募集したところ、多くの声をいただきました。今後の学院PRに活用していきます。

～学院のアピールポイントの一部をご紹介します～

- ・学費が安くて入りやすい
- ・学院内がきれい
- ・暖房が新しくなった
- ・景色がきれい
- ・教室の窓が大きくきれいな夕陽と海が見える
- ・自然の中で勉強に集中できる
- ・学生の人数が少ないので、先生にわからないことを質問しやすい
- ・実習室が広く技術練習ものびのびできる
- ・自己学習できるよう残れる時間が延長された
- ・寮生活は協力して物事を達成する力がつく
- ・教室にいながらドクターヘリを見ることが出来る（学院の横にヘリポートがある）



<1年生>

江差町にも雪が積もり、学院ホールのナイチンゲール像の横にクリスマスツリーが飾られました。1年生は夏期休暇明けから、国家試験ガイダンス、初めての実習、ミニ模試と、めまぐるしくも充実した日々を過ごしています。9月の国家試験ガイダンスでは、看護師国家試験の試験範囲や合格率、試験日時などの基本的事項の確認と1年生の段階での基礎固めの重要性について説明しています。基礎固めでは、特に人体の構造と成り立ちといった解剖生理学の知識をしっかりと身につけるべく、得意/不得意を明らかにするために11月にミニ模試も実施しています。ミニ模試では、既習知識で解答可能な国家試験問題を中心に出題しています。試験結果に一喜一憂するのではなく、その結果を自己学習に活かせるようサポートしていきたいと考えております。3月には、多くの看護学校が参加する業者主催の模試も受講予定です。

また、10月には「人と生活を知る実習」に行きました。小中学校や老人保健施設等に伺い、様々な年代の方々の暮らしや生活を知る経験をしました。実習を通して、学生間のチームワークも高まり、頼もしく感じております。冬期休暇明けは、いよいよ病院で行われる「基礎看護学実習Ⅰ」が始まります。緊張と不安の中、はじめて病院で患者さんと関わります。この経験を通して、また一段と成長していく学生をサポートしていけるように教員一同努めてまいりたいと思います。(1年生担当：楠原 千景)



◀1年生
人と生活を知る実習
(ティサービスセンター)



2年生▶
看護方法論演習
(包帯と三角巾)



<3年生>

12月に入り、一面の景色が白くなり寒さも増してきました。3年生は春から行っていた各論実習を終え、最後の集大成である統合実習も無事に終わることができました。まだまだコロナの影響を受けながらの実習ではありましたが、何とか学内実習に切り替わることなく、臨地で経験をさせていただくことができました。ご協力いただいた病院関係者の皆様をはじめ、受け持たせていただいた患者様には、感謝の言葉しかありません。本当にありがとうございました。これまでの実習での経験は、2月に行われる看護師国家試験やこれからの看護師経験に必ず活かされることでしょう。

実習後は、数科目の学習を積んで、国家試験合格を目指してラストスパートです。学院内で国家試験の模擬試験を実施したり、非常勤講師による国家試験対策の講義を受け、専門科目の復習をしています。今後も、専任教員による国家試験対策の集中講義を予定しています。

これからの時期は、学習をしながら規則正しい生活で健康管理を十分に行い、悔いのない時間を過ごしてもらいたいと考えます。そのためのサポートを全力で行って参ります。

クラス目標である「**全員で実習・国試合格、卒業**」を叶えるまで、あとわずかになってきました。佐々木副学院長が太宰府天満宮で合格祈願もしてきました。私たち教員は、学生の持てる力を信じて見守るだけです。ご家族の皆様も、どうぞ温かく見守ってくださいますようお願いいたします。(3年生担当：遠藤 直美)



<2年生>

11月28日から「老年看護学実習Ⅰ」が始まりましたが、開始直後に新型コロナウイルス感染症の影響により学内実習に変更となりました。学生からは、「実習に行きたかった」、「とても残念だ」などの声も聞かれましたが、それもつかの間、事例について対象像を描き、「住み慣れた地域でその人らしく最期まで生きる“ことについて学びを得ることができていて、さすが2年生と実感。このような学びができるのも「成人看護学実習Ⅰ」の経験があったからこそだと思います。終末期の患者様との関わりを通じ、看護は“生まれてから死ぬ”までのすべてに関わる仕事であると身をもって感じ、その中で、自分にできることを必死に考え看護する姿は、患者様にもきっと伝わったでしょうし、主体的に取組み、より良い看護を考え工夫するようになったりと“看護をしている”手応えを感じられたと思います。

また、後期の新クラス役員も決まりました。クラス目標を評価・立案する時には、「みんなと話をするようになった」、「看護学生としての自覚がでてきた」などと盛り上がりながら、最終的に「クラスみんなに関心をもって、困っている人をサポートする」、「クラスの問題を取り上げて意見交換しクラスが成長できるようにする」と、素敵なクラス目標が掲げられました。

国家試験対策では、クラスで共通の問題集を購入し、計画的に問題を解いて知識を定着させていきたいと思っております。ご家族の皆様も、引き続きご支援よろしくお願いたします。(2年生担当：臺坂 恵子)

スクールカウンセリングについて

～ 教員と連携し学生の皆様の
学生生活をサポートします ～

●日程(1～3月)

対面(14:30～17:00)	オンライン(16:30～18:00)
1/26(木)、2/13(月)	3/9(木)

●原則、予約優先ですが、空いていれば予約なしの相談もできます。

予約専用メール sc.soudan@gmail.com

①氏名、②学年、③連絡先 Tel、④希望日時、⑤希望方法、⑥相談内容



スクールカウンセラー
諏訪先生

□■ 学院行事等のお知らせ ■□

- ◆ 保護者面談 令和5年1月18日(水)・19日(木)(Webで実施)
1・2年生は保護者全員、3年生は希望する保護者が対象です。
すでにご案内しておりますが、ご都合がつかない場合等はお連絡ください。
- ◆ 冬期休暇 令和4年12月26日(月)～令和5年1月20日(金)
- ◆ 入学試験 令和5年1月10日(火)～11日(水)